

会議の概要（議事録）

会議の名称	(番号) 1—22	令和7年度 第1回墨田区行財政改革推進会議		
開催日時	令和7年8月1日（金） 午後5時00分から午後6時30分まで			
開催場所	墨田区役所庁舎7階 庁議室			
出席者数	6人 【委員】 倉阪秀史、平山敏弘、近藤弘忠 【事務局】 小倉孝弘（企画経営室長）、岐部靖文（企画経営室参事） 松本輝之（ICT推進担当課長）			
会議の公開 （傍聴）	公開(傍聴できる)	部分公開(部分傍聴できる)	傍聴者数	0人
議題	墨田区を取り巻く社会経済状況と今後の行財政運営のあり方について (1) 墨田区の現況について (2) 今計画期間における取組状況について (3) 山積する行政課題と今後の行政運営方針について			
配付資料	《配布資料》 資料1 墨田区行財政改革推進会議 委員名簿 資料2 墨田区行財政改革推進会議に関する要綱 資料3 委員会の公開（傍聴）と議事録について 資料4 墨田区の現況について 資料5-1 今計画期間中の取組状況について（行財政改革実施計画） 資料5-2 今計画期間中の取組状況について（行政情報化計画） 資料6 山積する行政課題と今後の行政運営方針について 参考資料1 墨田区行財政改革・行政情報化計画（令和4年度～令和7年度） 参考資料2 これまでの行財政改革について 参考資料3 墨田区の財務書類（令和5年度決算） 参考資料4 指定管理者制度の導入状況 参考資料5 職員数比較 参考資料6 第3次墨田区公共施設マネジメント実行計画の取組状況 参考資料7 未利用公有地の活用状況 参考資料8 出資団体等の状況 参考資料9 墨田区総合的人事戦略（R6～R10） 参考資料10 これからの窓口サービスについて 参考資料11-1 【詳細版】今計画期間中の取組状況（行財政改革実施計画） 参考資料11-2 【詳細版】今計画期間中の取組状況（行政情報化計画） 参考資料12 行政情報化の進捗報告（令和7年2月議会）			

<p>会 議 概 要</p>	<p>議題について事務局から説明後、意見交換を行った。意見要旨は以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 不断の取組＋重点取組に分けて考えており、重点取組は都庁で言うリーディングプロジェクトだと思う。ボトムアップ（現場の取組）とトップダウン（先行事例）とに分けて考えるのは良いと思う。 ・ 現計画の取組状況は公表しているか？区民からすると「何が向上したか」が知りたいのではないか。計画として、区民の方に見せた場合に区民生活がどう変わるか、その視点で体系立てられると良い。また、「課題への対応の視点」と施策が紐づくると良い。 ・ 課題の整理に奥行き感があると良い。課題を中長期的・短期的に仕分け、例えば短期的な施策であっても、全体として区民にリターンが来るという視点が必要。中長期的な課題についても、今から対策をすることで、より少ないリソースで大きなベネフィットを与えることが大事。 ・ 区民等へのわかりやすさも大事。共通認識が持てるよう、具体的な表現を用いて解像度を上げる必要がある。例えば、具体的な姿として「持続可能な状態」とはどのようなことかがわかりやすく表現できると良い。 ・ UX(ユーザーエクスペリエンス)のうち、EX(エンプロイヤー=職員)がないと動いていかない。EXの向上が、CX(カスタマー=区民)の向上に資するということを重視した方が良いのではないか。 ・ 職員の意識を高めるのであれば、人事評価における一定の成果報酬等が必要ではないか。そういったものがないとモチベーション向上につながりにくいのでは。 <hr/> <p>会議の概要は、以上である。</p>
<p>所 管 課</p>	<p>企画経営室行政経営担当（内線 3 7 1 3）</p>